

小中一貫教育だより

# 「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて



目標をつなぐ  
カリキュラムをつなぐ  
子どもの心をつなぐ  
教職員の意識をつなぐ  
家庭・地域の絆をつなぐ  
「小中一貫教育！」



令和4年度 No.4 (2022.7.25)  
担当：熊本市教育委員会事務局  
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

昨年度のモデル校、**植木北中学校区**では、  
来年度の**小中一貫校移行**へ向けて動き出しています！

植木北中学校 学校だより「Partnership (パートナーシップ)」6月号  
吉松小学校 学校だより「学び 励まん」  
田底小学校 学校だより「輝け 田底っ子」第20号 より一部抜粋

各学校の学校だよりやHP等で、保護者や地域に発信されました！

## ■小中一貫教育について(お知らせ)■

現在、熊本市では小中一貫教育が推進されており、現在いくつかの中学校区がすでに「小中一貫校」としてのスタートを切っています。植木北中学校区の3校(植木北中学校・吉松小学校・田底小学校)も、昨年度「小中一貫教育モデル校」の指定を受け、3校で研究を進め、「(保)小中一貫教育目標」と「小中一貫カリキュラム」を作成しました。今年度の準備期間を経たのち、**来年度(令和5年度)より「小中一貫校(小中一貫型小学校・中学校)」となる予定です。**ただ、「小中一貫校」と言っても、下記の(1)～(2)のような「小中一貫校の分類」と(3)～(5)の「施設形態の分類」があり、それぞれに特徴があります。

(略)。。。 **詳しくは植木北中、田底小のホームページをご覧ください。**

植木北中学校区の3校は、上記の(1)小中一貫型小学校・中学校となり、(5)施設分離型となる予定です。施設の統廃合はありません。それを受け、**6月10日(金)には3校の先生方が本校に集まり、小中一貫校移行に向けた取組について具体的な話し合いを行いました。**8月下旬には、中学校主催で著名な先生をお招きして**講演会を実施する予定です。**取組の第1弾としてこの講演会を**「小中一貫の行事」と位置づけ、植木北中学校の先生方、保護者の方々をはじめ、吉松・田底両小学校の先生方、保護者の方々にもご案内をさせていただき、計画を進めております。**詳細については後日あらためてお知らせいたします。

### 【教職員研修】

- ・ 小中一貫教育の取組の改善を図る上で、指導主事等による指導・助言とともに重要なのが、**校内研究をはじめとした教職員間の研修です。**指導・助言、情報提供といった外部からの刺激と、校内研究、相互の授業参観などによる教職員間の高め合いの双方が相まって、より良い取組が生まれていきます。
- ・ 研修を行う時期としては、小中一貫教育の導入前の新しい学校づくりの際や、導入後の長期休業中の時期などが考えられます。全市一斉に**「小中一貫交流の日」「小中一貫デー」などを定めている例も見られます。**

[小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 \(mext.go.jp\) \[p.105~106\]](#)

Ctrl+クリックを！